救

急



救急業務の概況

平成 25 年中の組合管内の出動件数は、10,055 件、搬送人員は 9,301 人で前年に比べ、出動件数が 153 件 (1.5%)、搬送人員が 202 人 (2.1%) とそれぞれ減少している。

このことは、管内で一日平均 27.5 件、約 53 分に1回の割合で救急隊が出動し、管内人口の約 32 人に1人が救急隊によって医療機関等へ搬送されたことを示している。

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出動件数では第 1 位が急病によるもので 6,086件、第 2 位が転院搬送 1,496件、第 3 位が一般負傷 1,308件、第 4 位が交通事故 729件となっている。また、搬送人員では第 1 位が急病 5,541人、第 2 位が転院搬送 1,493人、第 3 位が一般負傷 1,237人、第 4 位が交通事故 758人となっている。

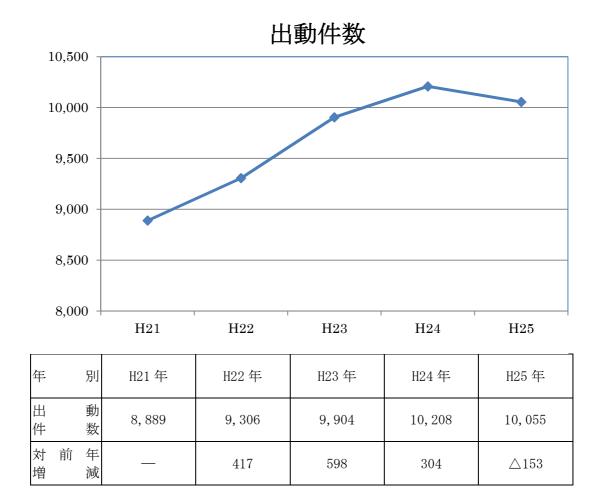
搬送された 9,301 人の傷病程度の内訳は、死亡 259 人 (2.78%)、重症 2,059 人 (22.14%)、中等症 3,972 人 (42.71%)、軽症 3,009 人 (32.35%) その他 2 人 (0.02%) となっている。

医療機関等へ搬送された9,301人のうち、92.5%にあたる8,604人が救急病院及び救急診療所(以下「医療機関等」という。)へ、7.5%にあたる693人が救急病院等以外の医療機関へ搬送されている。また、搬送人員の91.0%にあたる8,436人が組合の管轄内の医療機関へ、残りの8.7%にあたる861人が管轄外の医療機関へ搬送されている。

署別救急出動件数の比較(対前年比)

				件数	件	数	
署別				年別	H 25 年	H 24 年	増減
合				計	10,055	10, 208	△153
弘	前	消	防	署	1,689	1, 737	△48
藤	代		分	署	1,045	1, 112	△67
西	北		分	署	236	250	△14
西		分		署	529	514	15
目	屋		分	署	118	126	△8
東	消		防	署	1, 385	1, 389	$\triangle 4$
枡	形		分	署	1, 312	1, 298	14
北		分		署	386	413	△27
南		分		署	449	421	28
黒	石	消	防	署	972	970	2
Щ	形		分	署	172	163	9
田	舎	館	分	署	364	336	28
平	Щ	消	防	署	790	877	△87
碇	ケ	関	分	署	131	137	△6
板	柳	消	防	署	477	465	12

救急出動件数の推移(5ヶ年間)



市町村別救急出動件数の比較(対前年比)

市町村別	合	弘	黒	平	藤	板	大	田	西	高	管
		前	石	JII	崎	柳	無	舎	目	速	
		1 10	I	7.1	н	DF	YW.Y	館	屋	道	
年別	計	市	市	市	町	町	町	村	村	路	外
H 25年	10, 055	6, 342	1, 253	958	390	469	330	233	63	17	0
H 24年	10, 208	6, 451	1, 236	1, 006	425	465	308	223	64	17	13
増 減	△153	△109	17	△48	△35	4	22	10	Δ1	0	△13

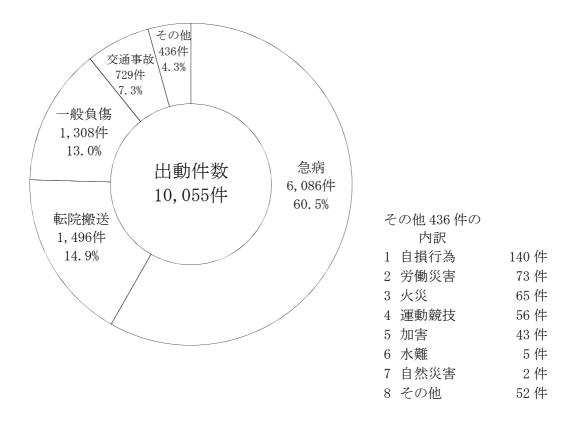
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員

	E	事故種別 事故種別		Н	- . l.c	六	777	定		Ьп	<u></u>		کر	<i>(</i>)	他
	7	P PX1里刀门	火	自	水	交	労	運		加	自	急	転	医	でそ
				然			働	動	般		損		院	師	
市	区合			災			災	競	負		行		搬	搬	\mathcal{O}
市町村別		計	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	送	送	他
合	出動件数	10, 055	65	2	5	729	73	56	1, 308	43	140	6, 086	1, 496	2	50
計	搬送人員	9, 301	20	0	3	758	68	52	1, 237	34	95	5, 541	1, 493	0	0
弘	出動件数	6, 342	28		3	440	42	44	747	27	76	3, 697	1, 198		40
前市	搬送人員	5, 858	11		2	453	39	41	697	20	57	3, 342	1, 196		
黒一	出動件数	1, 253	18	2		97	9	2	195	7	21	780	118	1	3
石市	搬送人員	1, 157	2			108	9	2	189	5	12	713	117		
平	出動件数	958	7		1	68	8	2	151	5	18	676	20	1	1
市	搬送人員	896	4			74	8	2	147	4	10	627	20		
藤	出動件数	390	1			39	1	2	54	2	6	231	51		3
崎町	搬送人員	372				41	1	2	52	2	3	220	51		
板柳	出動件数	469	1		1	33	5	1	67	1	6	283	71		
町	搬送人員	431			1	33	5	1	60	1	4	255	71		
大鰐	出動件数	330	6			12	1	4	50	1	5	225	24		2
町	搬送人員	301	2			9	1	3	49	1	4	208	24		
田舎	出動件数	233	3			27	3	1	31		6	147	14		1
舎館村	搬送人員	216				25	3	1	31		4	138	14		
西目	出動件数	63	1			2	4		12		1	43			
屋村	搬送人員	52	1			1	2		12	1	1	34			
高速	出動件数	17				11			1		1	4			
速道路	搬送人員	18				14						4			
管	出動件数														
外	搬送人員														

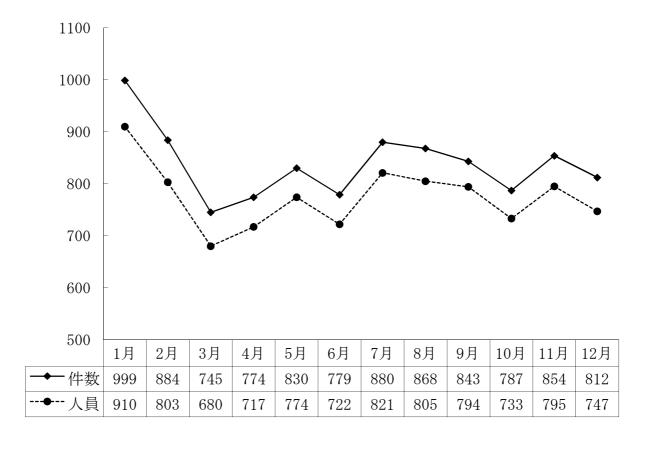
署別、事故種別救急業務実施状況

		<u> 19 7)</u>	- -	,	<u> クマリー</u>				1 4 4 7 4	<i>,</i>	~-	V + 1/2			
	事	 故種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	0)	他
				然			働	動	般		損		転	医	そ
₩/	E / /			災			災	競	負		行		院搬	師搬	の
署人別	区合	計	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	送	送	他
合	出動件数	10, 055	65	2	5	729	73		1, 308	43	-		1, 496	2	50
	搬送人員	9, 301	20	0	3	758	68		1, 237	34		5, 541		0	
_	出動件数	1, 689	11	·	1	110		14		13	19				15
弘前消防署	搬送人員	1, 585	5			115	8	13		10	13				
藤	出動件数	1, 045	5			64	7	6		2	12	669			7
代分署	搬送人員	977	1			69	6	5	110	2	10	618	156		
西北	出動件数	236				19	3		40		4	169	1		
分署	搬送人員	223				25	2		37		3	155	1		
西	出動件数	529	2		1	32	5	10	83	2	6	358	30		
分 署	搬送人員	486	2		1	33	5	10	79	1	4	321	30		
目屋	出動件数	118				7	3		25		1	80	2		
分署	搬送人員	107				7	2		24	1	1	70	2		
東消	出動件数	1, 385	15		1	127	8	9	139	8	20	702	344	1	11
防 署	搬送人員	1, 283	5		1	122	8	8	127	7	16	646	343		
枡形	出動件数	1, 312	6			75	8	5	170	4	15	794	225		10
分 署	搬送人員	1, 154	1			72	7	5	155	2	12	675	225		
北分	出動件数	386	1			35	1	2	52	1	5	240	47		2
署	搬送人員	370				40	1	2	50	1	2	227	47		
南分	出動件数	449	2			25	4	4	59		7	285	62		1
署	搬送人員	416	2			24	4	3	58		4	259	62		
黒石消防署	出動件数	972	16	1		75	9	2	145	5	19	592	105	1	2
	搬送人員	895	1			78	9	2		4	11	544	104		
山形へ	出動件数	172	3			14	1		32	1	3	116	1		1
分署	搬送人員	160	1			16	1		32	1	1	107			
田舎館分署	出動件数	364	1	1		39	2	1	52	1	6	235			1
	搬送人員	336				43	2	1			4	213			
平川消防署	出動件数	790	3		1	57	5	2	123	4	17	559	19		
	搬送人員	745	2			65	5	2		3	10	519			
碇ヶ関分署	出動件数	131				10	2		23	1		93			
	搬送人員	124			-	9	2		22	1	^	88			
板柳消防署	出動件数	477			1	40	6	1		1	6	284			
署	搬送人員	440			1	40	6	1	61	1	4	256	70		

事故種別救急出動件数



月別救急出動件数及び搬送人員



事故種別、覚知方法別出動件数

事故		火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ
種別			然			働	動	般		損		Ø
			災			災	競	負		行		
覚知別	計	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他
合 計	10, 055	65	2	5	729	73	56	1, 308	43	140	6, 086	1, 548
自己覚知	51	3			26			5	1		8	8
専用電話	8, 140	55	1	3	496	62	51	1, 168	25	105	5, 605	569
加入電話	1, 697	7	1	2	189	7	5	95	16	34	389	952
駆け付け	128				5	4		35		1	68	15
警察電話	10				7			1	1		1	
その他	29				6			4			15	4

収容所要時間別、事故種別搬送人員

	収容所要 時間			10 分以上	20 分以上	30 分以上	60 分以上	
		合 計	10 分未満	5	\$	\$	5	120 分以上
事故	対種別			20 分未満	30 分未満	60 分未満	120 分未満	
合	計	9, 301	8	516	3, 225	5, 131	404	17
急	病	5, 541	1	202	1, 773	3, 363	196	6
交	通	758	0	36	249	434	37	2
_	般負傷	1, 237	0	42	368	739	82	6
そ	の他	1, 765	7	236	835	595	89	3

事故種別、年齡区分別、傷病程度別搬送人員

	車投送回												1
	事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
年齢区分	傷病程度												
	死 亡	259	1	0	0	9	0	0	25	1	22	195	6
合	重 症	2,059	4	0	0	46	15	4	221	3	11	1,057	698
	中等症	3, 972	9	0	1	197	32	21	433	8	44	2, 502	726
	軽 症	3,009	6	0	2	506	21	27	557	22	18	1, 787	62
計	その他	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
H.	計	9, 301	20	0	3	758	68	52	1, 237	34	95	5, 541	1, 493
	死 亡	1										1	
新	重 症	3											3
	中 等 症	23							1			4	18
生	軽 症	1											1
児	その他	1											1
7.2	計	29	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	23
	死 亡	0											
필	重 症	8											8
√ 1 1	中等症	103				6			10			67	20
乳 幼 児	軽 症	177				18			50			106	3
冗	その他	0										0	0.1
	計	288	0	0	0	24	0	0	60	0	0	173	31
. 1.	死 亡 重 症	13				4		1	1		1	1	6
少	車 症 中等症	103				26		12	16		3	35	11
	軽 症	173			2	84		15	30		3	41	1
年	その他	0				01		10	00			11	1
	計	290	0	0	2	114	0	28	47	0	4	77	18
	死 亡	48				1			4	1	8	34	
成	重 症	505	2			15	12	3	41	2	7	223	200
/-/-	中等症	1, 270	6			100	25	9	131	5	33	715	246
人	軽 症	1, 294	4			284	16	11	188	16	16	735	24
人	その他 計	1 2 110	12	0	0	400	53	23	365	24	64	1 707	470
	死 亡	3, 118 209	12	U	0	400 8	53	23	365	24	13	1, 707 160	6
뇹	重症	1,530	2			27	3		179	1	4	833	481
高	中等症	2, 473	3		1	65	6		275	3	8	1, 681	431
齢 者	軽症	1, 364	2			120	6	1	289	6	2	905	33
者	その他	0											
	計	5, 576	8	0	1	220	15	1	764	10	27	3, 579	951

※○新生児・・・・・生後28日未満

○乳幼児・・・・・・生後 28 日以上満 7 歳未満

○少 年・・・・・満7歳以上満18未満

〇成 人・・・・・満 18 歳以上満 65 歳未満

○高齢者・・・・・・満 65 歳以上

※○死 亡・・・・・初診時において死亡が確認されたもの

○重 症・・・・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの

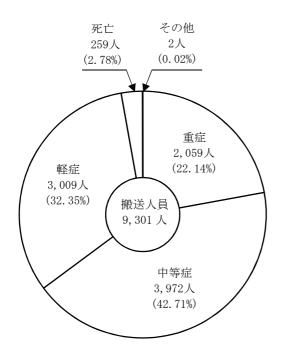
○中等症・・・・・・入院を要するもので重症に至らないもの

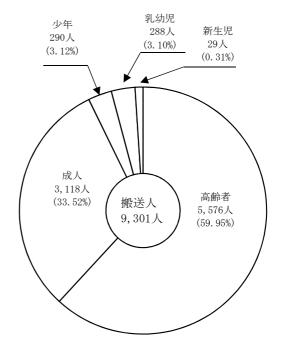
○軽 症・・・・・・入院加療を必要としないもの

○その他・・・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの

(傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく)

傷病程度別搬送人員 年齡区分別搬送人員





- ※○死 亡…初診時において死亡が確認されたもの
 - ○重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 - ○中等症…入院を要するもので重症に至らないもの
 - ○軽 症…入院加療を必要としないもの
 - ○その他…医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの (傷病程度は、初診時における医師の診断に基づく)
- ※○新生児…生後28日未満
 - ○乳幼児…生後28日以上満7歳未満
 - ○少 年…満7歳以上満18歳未満
 - ○成 人…満 18 歳以上満 65 歳未満
 - ○高齢者…満 65 歳以上

発生場所別搬送人員

発生 事故種	E場所 別	合 計	住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道路	その他
合	計	9, 301	4,712	3, 101	194	1,054	240
急	病	5, 541	3, 872	1, 278	127	174	90
交	通	758	7	20	1	716	14
一般	負傷	1, 237	715	244	13	149	116
そ(の他	1, 765	118	1, 559	53	15	20

※ 住 宅…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所

公衆出入場所…多数の人が集まる場所

場…工場、作業所、各種事業所等の仕事をしている場所

道 路…一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等

そ 他…公園、広場、空地等及び発生場所不明

急病にかかる疾病分類別、傷病程度別搬送人員

	事故種別	Λ =1	循	環系	W. 11 T	WW7	W++1	-AW-T	ンロチ	ال او موجل	7 - 11	→ BB
年齢区分	傷病程度	合 計	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確
	死 亡	195	7	45	3	6	0	0	1	6	1	126
合	重 症	1,057	388	101	71	143	17	7	16	47	51	216
	中 等 症	2,502	297	177	221	218	47	85	61	31	249	1, 116
	軽 症	1, 787	56	80	115	69	133	68	62	8	188	1,008
計	その他	0										0
PΙ	計	5, 541	748	403	410	436	197	160	140	92	489	2, 466
	死 亡	1									1	·
新	重 症	0										
生	中 等 症	4								_	3	1
	軽 症	0										
児	そ の 他 計	<u>0</u> 5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
	死亡	0	U	U	0	U	U	0	U	0	4	1
乳	重症	0										
	中等症	67				1		1			4	61
幼	軽 症	106			4	3		1			5	93
児	その他	0						_		_		
	計	173	0	0	4	4	0	2	0	0	9	154
少	死 亡 重 症	0										1
7	中等症	35		1	2	1	1	5			1	24
	軽 症	41	2		5	3	3	5			4	19
年	その他	0										
<u>'</u>	計	77	2	1	7	4	4	10	0	0	5	44
4-1	死亡	34	3	7	1	1	1.4	_		1	1.4	21
成		223 715	96 73	20 38	21 98	11 43	14 35	5 28	2 18	11 8	14 81	29 293
	軽 症	735	15	16	56	18	98	35	29	1	79	388
人	その他	0	10	10		10		50	20	1		000
	計	1, 707	187	81	176	73	147	68	49	21	174	731
	死 亡	160	4	38	2	5			1	5	_	105
高	重 症	833	292	81	50	132	3	2	14	36	37	186
龄	中等症	1, 681	224	138	121	173	11	51	43	23	160	737
	軽 症	905	39	64	50	45	32	27	33	7	100	508
者	その他	0	FFC	201	000	255	4.0	00	0.1	71	907	1 500
	計	3, 579	559	321	223	355	46	80	91	71	297	1,536

※○新生児・・・・・生後28日未満

○乳幼児・・・・・・生後28日以上満7歳未満

○少年・・・・・満7歳以上満18未満

○成 人・・・・・満 18 歳以上満 65 歳未満

○高齢者・・・・・・満 65 歳以上

※○死 亡・・・・・・初診時において死亡が確認されたもの

○重 症・・・・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの

○中等症・・・・・・入院を要するもので重症に至らないもの

○軽 症・・・・・・入院加療を必要としないもの

○その他・・・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの

(傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく)

救急隊員の行った応急処置件数

応急	忘急処置 応急処置 対象人数			止血.	固定	人工呼吸	胸骨	圧迫	心肺	蘇生	酸素吸入		気	道	確	保
事故種別		対象人数	I		I /	, , _ , , ,		うち自動		うち自動			※ 1	※ 2	※ 3	※ 4
合	計	9, 215	34, 169	231	855	196	18	3	326	9	2, 686	558	43	20	211	29
急	病	5, 509	21, 179	29	43	146	15	3	241	7	1,857	438	34	9	172	14
交	通	753	2,878	41	395	7	1	0	11	0	95	15	0	0	6	2
一般負	負傷	1, 225	4, 455	130	323	17	1	0	38	0	141	51	6	11	15	10
その	他	1,728	5, 657	31	94	26	1	0	36	2	593	54	3	0	18	3

- (注) 気道確保欄の※1は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数(内数)
 - ※2は、喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数(内数)
 - ※3は、救急救命士がラリンゲアルマスク等を使用して気道確保を行った件数(内数)
 - ※4は、救急救命士が気管挿管により気道確保を行った件数(内数)

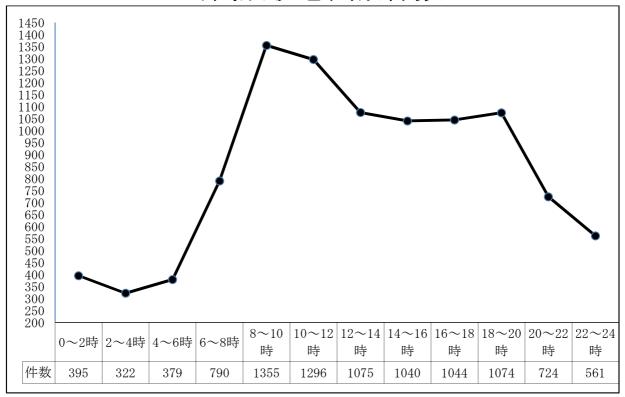
応急処置	保温	被覆		在宅療	寮法継続		ショックパ ンツによる	除細動	静脈路確保		血圧測定	聴診器による 心音・呼吸音等	血液酸素飽和	心電図による液	皮形の観察	薬剤投与
事故種別	b l 4 l l l	12/12		 ₩A	Ж В	% C	血圧保持等		(輸液)	応急処置	//\d	の聴取	度の測定		うち伝送	70/132
合計	1, 867	577	81	21	23	49	3	48	132	1, 366	8, 538	2, 298	8, 744	5, 492	0	27
急病	1, 211	30	63	8	22	43	0	42	93	916	5, 092	1,634	5, 175	4, 048	0	19
交通	120	166	0	0	0	0	1	3	5	60	721	248	739	241	0	4
一般負傷	281	318	4	0	1	3	0	0	14	134	1, 125	240	1, 157	467	0	2
その他	255	63	14	13	0	3	2	3	20	256	1,600	176	1,673	736	0	2

⁽注) 在宅医療継続欄の※Aは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数(内数)

[※]Bは、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数(内数)

[※]Cは、※A・※B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数(内数)

時間別救急出動件数



応急手当の普及啓発活動の状況

平成25年中における地域住民を対象とした応急手当の方法等についての講習会は365回で、受講人員は、10,630名となっている。(うち、普通救命講習195回、5,956名が受講、上級救命講習6回、233名が受講)

また、昭和57年から、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む一週間を「救急医療週間」と定め、全国的にこの趣旨に沿った行事が行われている。

講習区分	上級救命講習	普通救命講習I	普通救命講習Ⅱ	その他の講習	救命入門コース
実施回数	6回	195回	5 回	158回	1 回
受講人数	233名	5,956名	144名	4,282名	15名

救急認定医療機関一覧表

(平成26年4月1日現在)

医療機関名	所 在 地	電話
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字富野町1番地	0172-32-4311
○弘前市立病院	弘前市大字大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字野田二丁目2番地1	0172-32-1171
○医療法人弘愛会 弘愛会病院	弘前市大字宮川三丁目1番地4	0172-33-2871
○医療法人元秀会 弘前小野病院	弘前市大字和泉二丁目 19 番地 1	0172-27-1431
弘前大学医学部附属病院	弘前市大字本町 53 番地	0172-33-5111
医療法人北桜会 弘前メディカルセンター	弘前市大字大町二丁目2番地9	0172-35-1511
財団法人医療と育成のための研究会清明会 弘前中央病院	弘前市大字吉野町3番地1	0172-36-7111
財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	弘前市大字扇町一丁目2番地1	0172-28-8220
町立大鰐病院	南津軽郡大鰐町大字蔵館字 川原田 40 番地 4	0172-48-2211
医療法人ときわ会 ときわ会病院	南津軽郡藤崎町大字榊字亀 田2番地1	0172-65-3771
黒石市国民健康保険 黒石病院	黒石市北美町一丁目70番地	0172-52-2121
国民健康保険 板柳中央病院	北津軽郡板柳町大字灰沼字 岩井74番地2	0172-73-3231

※ ○は、病院群輪番制参加病院を示す。

救急医療体制は、初期救急医療、入院救急医療、救命救急医療で構築されています。初期救急医療は、入院治療の必要がなく外来診療を行う救急医療で弘前市急患診療所や休日在宅当番医院が担っています。

入院救急医療とは、県が認定した救急医療機関が担っており、その中で、上記〇印病院群輪番制参加病院である5病院が、休日・夜間において入院・手術を必要とする重症な患者の内科・外科系診療を毎月当番制で対応しております。また、入院救急医療で対応できない重篤な患者を救命救急医療(弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター)が担っております。

※ 体制時間について

- ○初期救急医療(休日夜間急患センター)
 - ・弘前市急患診療所:平日、土曜日(19時~22時30分)

休日 (10 時~16 時·19 時~22 時 30 分)

- ・休日在宅当番:日曜日(内科・外科、9時~12時)(耳鼻科・眼科、10時~16時)
- ○入院救急医療:病院群輪番制参加病院

平日 (17 時~翌朝 8 時 30 分) 休日 (8 時 30 分~翌朝 8 時 30 分)

○救命救急医療:弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター 毎日24時間(入院救急医療で対応できない重篤な患者の救命医療)

津軽地域小児救急病院等一覧表

(平成26年4月1日現在)

医療機関名	所 在 地	電話
弘前市急患診療所	弘前市大字野田二丁目7番地1	0172-34-1131
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字富野町1番地	0172-32-4311
○独立行政法人国立病院機構青森病院	青森市浪岡大字女鹿沢字平野 155番地	0172-62-4055
○弘前市立病院	弘前市大字大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字野田二丁目2番地1	0172-32-1171
○黒石市国民健康保険 黒石病院	黒石市北美町一丁目 70 番地	0172-52-2121
弘前大学医学部附属病院	弘前市大字本町 53 番地	0172-33-5111

^{※ ○}印は津軽地域小児救急二次輪番病院

弘前市を中心とする津軽地域8の市町村で、15歳未満あるいは中学三年生までの患者(交通事故による外傷など外科治療が必要な対象は除く)を対象に常時、小児科医が診療する「小児救急医療体制が平成18年1月10日より開始されました。

この小児救急医療体制の仕組みにつきましては、弘前市急患診療所で外来診療を行い、万が一入院が必要になった場合には、小児科のある5病院(小児救急二次輪番病院)が交代で対応するとともに、重症な患者は、弘前大学医学部附属病院へ紹介するということとなっております。

※ 体制時間について

- ○一次救急(外来):弘前市急患診療所
 - ·平日、土曜日 (19 時~22 時 30 分)
 - ・休日 (10 時~16 時・19 時~22 時 30 分)
- ○二次救急(入院):小児救急二次輪番病院
 - •平日(毎日18時~翌朝8時)
 - · 土曜日 (13 時~翌朝 8 時)
 - ·休日 (8時~翌朝8時)
- ○三次救急(高度医療): 弘前大学医学部附属病院(小児科)
 - ・毎日24時間(二次病院では対応できない重症の患者)